

# 年頭所感

一般社団法人組込みシステム技術協会

会長 竹内 嘉一



あけまして、おめでとうございます。

旧年中は、当協会活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝いたします。

本年も引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

今年の干支は庚子（かのえね）です。庚の年は前年まで完成した自己から不要な価値観をそぎ落とし、新しい環境へ対応する体制を整える年という意味があり、子年は、前年で結んだ種が、新たに芽生えて、いろいろな方向にそだち始める年という意味があるそうです。

各産業界でSociety 5.0が定着し、また、持続可能な開発目標であるSDGsに向けて具体的な活動が展開される中で、新たなデジタル化の潮流であるIoTやDX、AIが日常の会話で普通に飛び交う時代になってきました。

我々JASAも「モノづくり」の支えとなる「組込み業界」の協会から、IoTやAI、5Gなどを使用する「システムづくり」や「コトづくり」の産業を支える協会へと変革の時期を迎えていると考

えています。

もちろん、組込み技術やエッジコンピューティングを強みとすることは変わりませんが、今年は庚子の年の意味に従い、これまでの不要な価値観をそぎ落とし、新しい環境へ対応する体制を整え、昨年来から取り組んでいる新たな活動を更に成長させるための施策展開を進めたいと考えています。

今年の重点活動項目は、上記のコンセプトを基に取捨選択し、以下の6項目で進めて参ります。

『組込み業界の協会から、IoT、AI、5Gなどの使われる産業の協会に変革する』

①グローバルも含め、他協会、地方との積極的なアライアンスの構築

②展示会において、トレンドを明確にして、カンファレンス等での啓蒙活動を強化・発展

③高度人財育成の強化に加え、研修、人財育成の事業化

④技術本部で幅広い需要に応えられる体制強化と、成果物の共有化

⑤会社単独で実施しにくい、技術研

究、仲間づくりを軸とした支援

⑥地方、グローバルに目を向けた人脈形成、人財育成の強化

特に、JASAの収益事業であるEmbedded Technology/IoT Technology展示会は、ETロボコンで経済産業大臣賞をいただき、次世代人財育成プログラムであるIoTイノベーションチャレンジやスタートアップとのコラボレーションも益々盛り上がりをいく期待がありますが、展示会の成長という点では横ばいであります、その変革は急務であります。

乱立する展示会の中で、如何に業界団体が主催する展示会にふさわしいものに成長させていくのかを、皆さんのお知恵とご助力をいただきながら、新たな体制づくりから変革を進める所存です。

最後になりますが、今年も一年、皆さんと共に力を合わせ、知恵を出し、新たに芽生えた事業の成長に向けた新たな協会づくりへの変革へと第一歩を踏み出したいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 謹賀新年

令和二年 一月

会長	竹内 嘉一
副会長	加賀谷 龍一
副会長	松本 浩樹
副会長	佐野 勝大

専務理事	武部 桂史
事業推進本部長	杉本 浩
人材育成事業本部長	竹岡 尚三
技術本部長	渡辺 博之
ET事業本部長	